



教 調 第 1 2 9 号
平成 29 年 5 月 26 日

各 県 立 学 校 長 様

学校調整課総括課長

情報端末及びソーシャルネットワークサービスの適正利用に向けた指導の徹底について

このことについて、別添（写）のとおり岩手県警察本部生活安全部少年課長から依頼がありました。

近年はスマートフォンなどの高機能な情報端末や、「LINE」や「Twitter」をはじめとしたソーシャルネットワークサービス（以下、SNSという）を介して、県内の児童生徒が少年の福祉を害する犯罪（以下、福祉犯罪という）の当事者になる例が多い現状にあります。

特に本年度は、SNS等に起因する福祉犯罪の情報が警察に多く寄せられていることから、各学校において、下記について指導及び取組を徹底願います。

記

1 児童ポルノ製造、提供の違法性について

近年、SNS等で知り合った者や交際相手等からの求めなどに応じ、児童が自発的に自己の裸や恥部の画像（以下、児童ポルノという）を撮影する「自画撮り」や児童ポルノを知人に提供する例など、児童ポルノを安易に製造・提供する例が多く見受けられることから、児童生徒に対し、これらの行為は、違法行為として検挙・補導の対象となるということを理解させること。

2 児童ポルノデータの拡散による弊害について

インターネット上に公開された画像は、全世界にいる多くの者が閲覧や複製が可能な状態となり、完全な消去、回収が不可能となるほか、インターネット上で画像や個人情報が流出したままになる可能性が極めて高くなることから、児童ポルノ画像は「撮影しない・させない」こと。また、児童ポルノの被写体となった児童生徒がいた場合には、その拡散防止及び証拠保全のため、学校や警察に直ちに相談するよう指導すること。

3 スクールサポーターとの連携について

各学校は、特に問題行動のある児童生徒について、早い段階からスクールサポーターとの連携を図り、その強化を図ること。

【 担 当 】

岩手県教育委員会事務局
学校調整課【生徒指導担当】
主任指導主事 内 川 千亜希
TEL：019-629-6146
FAX：019-629-6144
Email：c-uchikawa@pref.iwate.jp